

30 芸術美第 4 - 5 号
平成 30 年 6 月 14 日

各 関 係 大 学 長 殿
各 関 係 機 関 長 殿
関 係 各 位

東京藝術大学美術学部長
日比野 克彦
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、この度本学部では、下記のとおり教員を公募することといたしました。
つきましては、貴機関関係者への周知方、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院文化財保存修復領域 教授又は准教授 1名
2. 所属・専門等 大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復(油画)
3. 担当授業 文化財の保存および修復に関する講義、修復実習および演習を担当する。
4. 採用予定時期 平成31年4月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年(満67歳)を上限として、教授又は准教授は10年の任期制(更新可)が適用される。
※更新については任期末1年半前までに更新希望の有無を確認の上、再任評価を行い、任期末の1年前までに更新の可否を決定します。
6. 給与 東京藝術大学職員給与規則に基づき支給
7. 就業時間 専門業務型裁量労働制(1日7時間45分働いたものとみなす)
8. 休日 本学規定による
9. 社会保険等 文部科学省共済組合
10. 応募資格 下記の各項を満たす者
 - (1) 保存修復(油画)に関する優れた業績を有する者
 - (2) 保存修復(油画)に関する修復技法と理論について総合的に造詣が深く、その修復等の実績をもち、上記の専門分野に関し十分な研究指導能力を有する者
 - (3) 主たる自己の専門とする保存修復(油画)以外の分野の文化財保存についても幅広い見識を有する者
 - (4) 保存修復に関する国内外の共同プロジェクトなどに参加できる者
 - (5) 大学院博士前期課程(修士課程)および博士後期課程学生の教育研究指導にあたる者
 - (6) 博士の学位を有する者もしくはこれと同等以上の実績を有する者
 - (7) 採用後、通勤可能な範囲に居住できること(上野校地及び取手校地)
 - (8) 国籍は問わない。ただし、上記の教育に支障のない日本語能力を有する者



11. 選考方法

- (1) 第一次選考：書類審査 平成30年8月下旬 結果は書面にて通知する。
(2) 第二次選考：面接審査 平成30年9月6日(木) 詳細は第一次選考合格者に通知する。
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)
(3) 候補者内定：平成30年11月中旬頃

12. 提出書類

- (1) 履歴書(写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと)
(2) 業績リスト(別添の参考資料1を参照して作成のこと) 応募者の保存修復研究領域(油画)における主たる専門分野を明記のこと
(3) 主たる修復(修理)報告書や学術投稿論文や創作作品等の業績資料(A4ファイル1冊にまとめる、資料等は写しで可、別添の参考資料2を参照して作成のこと)
(4) 応募の動機および教育研究に対する抱負(2000字程度、書式自由、ただし日本語に限る)

※いずれもA4判用紙を基本とする。なお、(3)作品・論文資料は返却するので、応募者は必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。(宅配便利用の場合は、送付票「着払い」に記入の上、返信用封筒と共に同封すること。)

※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。

13. 書類提出先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部庶務係 宛

提出書類は「書留」とし、封筒の表面に「保存修復(油画)教員応募書類在中」と朱書きすること

14. 書類提出期限

平成30年8月21日(火)17時までに必着(厳守)のこと。書留郵便以外は受理しない。

15. その他

本学では平成28年6月に公表した「大学改革・機能強化推進戦略2016」に基づき、ダイバーシティな大学環境実現のため、女性や外国人等の教員・研究者への支援を推進しています。

(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係(担当：本橋)

(問合せは、必ず文書によること。)

FAX：03-5685-7765

参考資料1 - 業績リスト作成要領

- 1. 論文 (審査付きのものに限る)
 - 1.1 主著論文
著者名 (全員を記載)、論文タイトル、掲載誌名、号 (年)、頁 (ppにて)
 - 1.2 共著論文
著者名 (全員を記載)、論文タイトル、掲載誌名、号 (年)、頁 (ppにて)
- 2. 講演
 - 2.1 筆頭者としての発表
著者名 (全員を記載)、講演タイトル、掲載誌名、号 (年)、頁 (ppにて)
 - 2.2 共同発表
著者名 (全員を記載)、講演タイトル、掲載誌名、号 (年)、頁 (ppにて)
- 3. 修理報告
著者名 (全員を記載)、タイトル、年、頁 (ppにて)
- 4. 展覧会等
 - 4.1 企画展 (企画のみも含む)
 - 4.2 個展やグループ展等
 - 4.3 その他展覧会等
- 5. 解説等の記事
著者名 (全員を記載)、タイトル、掲載誌名、号 (年)、頁 (ppにて)
- 6. 著作等
著者名 (全員を記載)、タイトル、書籍名、号 (年)、頁 (ppにて)
- 7. 監修等
- 8. その他の業績

参考資料2 - 業績資料の作成要領

業績リストに記載の業績ごとに番号をつけ、その順番に対応するように資料を作成すること。

(例)

業績リスト

1.1主著論文

1. 藝大太郎、藝大花子：論文タイトル、雑誌名 28 (2016) pp1-2.



